

令和7年度 埼玉県学力・学習状況調査の結果(花園小学校)

平均正答率

1 自校の平均正答率と県の平均正答率との比較

教科	国語			算数		
	学年	小4	小5	小6	小4	小5
花園小	下回った	下回った	下回った	下回った	下回った	下回った
埼玉県	52.5	62.8	59.3	66.2	48.3	52.4

2 自校の学力レベルと県の学力レベル

教科	国語			算数		
	学年	小4	小5	小6	小4	小5
花園小	5-C	5-A	6-B	4-B	4-A	5-A
埼玉県	5-B	6-B	7-C	4-A	5-B	6-C

3 自校の学力の伸びと県の学力の伸び

教科	国語			算数		
	学年	小4	小5	小6	小4	小5
花園小		3	1		1	1
埼玉県		3	2		2	2

児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた値(単位 %)

	質問事項	小4		小5		小6	
	質問事項	花園小	埼玉県	花園小	埼玉県	花園小	埼玉県
深谷の子6つの誓い	・将来の夢や目標を持っている	93.3	90.6	91.3	88.5	85.5	83.9
	・難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している	69.5	78.6	70.5	77.0	77.3	77.4
	・自分からはつきり挨拶をすることができます	72.4	81.5	87.8	82.0	87.3	84.5
	・脱いだはき物のかかとをそろえることができている	74.2	77.8	79.2	80.7	77.3	87.4
	・相手の気持ちを考え、やさしい言葉遣いができる	85.7	85.5	85.2	86.9	86.3	89.4
	・勉強するときは、最初に計画を立ててから始める	61.9	54.2	60	49.2	51.8	51.6
	・休日などの学校が休みの日に1日当たり1時間以上勉強している(塾等を含む)	54.4	52.8	26.1	54.0	55.5	53.9
学習等への関心	・授業で学んだことを、日常の生活に生かせると感じた	43.8	75.6	20.9	76.0	16.4	77.5
	・将来どの学校まで進みたいと思いますか【大学以上】	76.2	36.6	80	67.4	80.9	40.0
	・地域の歴史や自然に関心をもっている	64.7	73.5	74.8	70.5	71.9	66.5
授業について	・授業を通して学んだ内容についてさらに詳しく知りたい、学びたいと思った	85.7	78.6	80.8	74.1	66.3	69.0
	・課題の解決に向けて、話し合ったり交流したりしたことで、自分の考えをもてるようになった	75.3	75.9	76.5	79.8	71.8	80.3
	・国語や算数の授業で、週1~2回程度以上タブレットを使っていた(2項目の平均として)	58	45.1	28.3	48.9	39.5	57.1
	・昨年度、週2回以上、タブレットを家に持ち帰って、宿題含めて学習に利用した	7.7	21.6	27.8	24.5	11.8	23.4
その他	・学校の先生たちは自分のよいところを認めてくれた	95.2	94.2	91.3	94.8	95.4	94.8
	・学校の友達は自分のよいところを認めてくれた	74.3	85.3	81.7	90.0	90	92.4
	・学級での生活は楽しい	94.2	94.4	95.6	92.8	91.8	92.3

【質問紙分析】

- ・「将来の夢や目標を持っている」では、地元の偉人やアスリートの生き方を学んだり、聞いたりする機会があるため、自分の将来の夢について希望を持つことができていると考えられる。
- ・「勉強するときは、最初に計画を立ててから始める」では、深谷市授業スタンダードをもとに授業を行っているため、順序立てて、計画的に学習に取り組めていると考えられる。
- ・「難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している」、「脱いだはき物のかかとをそろえることができている」、「相手の気持ちを考え、やさしい言葉遣いができる」では、学校と家庭が連携し、くり返し指導していく必要がある。

伸びが見られた学級・教科での取組

【学級】

- ・「ミステイク イズ ワンダフル」を合言葉に授業中に、自分が求めた答えが間違っていても皆が認め合えるクラスづくりに努めた。
- ・困っている友達は助ける指導を授業でも生かし、児童同士で教え合う時間をつくるようにした。
- ・単元テストでは、最後まであきらめずに取り組ませ、空欄で提出しないように働きかけた。
- ・学習が苦手な児童には、前もって類似問題を一緒に取り組むなどの支援をした。

【国語】

- ・コバトンプリントを隙間時間に取り組んだ。
- ・単元のゴールを示し、どのような順序で学習するか伝えた。また、作文や文章では担任がモデルを示した。
- ・単元毎に見通しがもてるよう、ふり返りシートを活用した。次の時間に何をするかを考えることで、今の時間に何をどこまでやる必要があるのかを見通しをもてるようにした。

【算数】

- ・練習問題に取り組む時間を多めにとり、ドリル学習に力を入れた。
- ・計算ドリルは3回取り組むように指導した。
- ・自分の考えが書けない児童には、友達からアドバイスをもらうようにした。
- ・理解が不十分な児童を休み時間に呼び、一緒に問題を解くようにした。
- ・授業の導入前に復習から始めるようにした。
- ・その日に学習したものは自学で復習するように呼びかけた。
- ・定着が悪い部分は、帯学習で一問ずつ取り組んだ。

一人一人をより伸ばすための取組

- ・苦手なところはプリントを用意し、隙間時間に取り組ませた。
- ・自主学習の内容をチェックし、苦手な部分は取り組むように呼び掛けた。
- ・家庭との連携を図り、家庭学習の協力を得るよう呼びかけた。
- ・家庭学習のグッドモデルを周知した。
- ・頑張った児童には、シールを貼るなど、努力の後が視覚化できるように工夫した。
- ・できた時にたくさん讃めたり、連絡帳に花丸を書き家庭に呼びかけたりと、児童のやる気が湧くように工夫した。
- ・自主学習ノートに次にやったほうがよいことやお勧めの学習を記述した。
- ・進みが早い子には、教科書の補充問題を自主的に進めてもよいことを伝えた。
- ・学期ごとに、できるようになったこと、伸びたことを賞状としてコメントをわたした。